

製品安全データシート

製造者情報

会社名 アサヒボンド工業株式会社

住所 埼玉県新座市畑中 2-16-43

担当部門 技術部

電話番号 048-482-6611

FAX番号 048-482-6610

緊急連絡先 技術部 Tel 048-482-6611

整理番号 MSDS102

作成・改訂 2004年11月25日

1. 製品の特定

製品名 : アンダースプレー

製品の種類 : 下地調整材

主な用途 : コンクリートのひび割れ補修

2. 物質の特定

単一製品・混合物の区分: 混合物

成分及び含有量:

成分名	含有量 (wt%)	CAS No.
特殊セメント	50~70	——
珪石粉	20~40	——
有機物粉末ポリマー	3~10	——
有効成分計	100	
プロパン、ブタン	*	74-98-6、106-97-8、75-28-5

*有効成分 50g に対して 200ml の割合で充填

危険有害性の分類

分類の名称: 高圧ガス、引火性液体

危険性: 可燃性ガス、空気と混合して爆発性混合ガスを形成する。

引火性液体、皮膚に触れると脱脂作用がある。有機溶剤中毒を起こす恐れがある。

有害性: 水と接触するとアルカリ性を呈し、眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり触れると炎症を
 引起す恐れがある。

3. 物理/化学的性質

外觀: 灰色粉末

水溶解性: 不溶

4. 危険性情報

	引火点	発火点	爆発限界
プロパン、ブタン	-90 °C	427 °C	1.8~8.5 %

消火剤: 粉末、泡、炭酸ガス

消火方法: 消火者は空気呼吸器等適切な保護具を着用し、作業は風上から行う。

初期の火災には、炭酸ガス消火器や乾燥砂を用いる。

大規模火災の際には、泡消火剤等を用いて空気を遮断する事が有効である。

5. 応急処置／有害性情報

【有効成分】

水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性を呈し、そのために眼や皮膚を刺激する。また、長時間皮膚に付着していると炎症を起こす。長時間多量に吸入すると「塵肺」になる恐れがある。

【プロパン、ブタン】

急性毒性（経口 LD₅₀）・・・100,000ppm/短期暴露、数分吸入後にめまい。

刺激性・・・皮膚、粘膜を刺激する。

目に入った場合：多量の水で15分以上洗眼した後、医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗い流す。異常が見られる場合は医師の診察を受ける。

吸入した場合：濃厚なミストを吸入した場合は、被災者を空気の新鮮な場所に移し、多量の水でうがいさせる。

飲み込んだ場合：多量の水を飲ませ吐かせた後、医師の診察を受ける。

6. 安定性・反応性情報

可燃性：あり

酸化性：なし

自己反応性・爆発性：データなし

反応性：水、酸との接触で反応する。

7. 漏出時の処置

漏出物の処理：掃除機等で吸い取って回収する。またはスcoop、箒等で集め、袋等に回収する。

8. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：直接皮膚との接触を避ける。必要ならばゴム製手袋及び保護メガネ等適切な保護具を着用し、取扱後は、顔、手、口等を良く水洗する。

屋内での取扱い時は換気に注意し、必要ならば局所排気装置を設置、使用する。

保管：乾燥した場所で保管する。

9. 暴露防止措置

管理濃度：【有効成分】設定されていない

【プロパン、ブタン】設定されていない

許容濃度：【有効成分】設定されていない

【プロパン、ブタン】日本産業衛生学会；1,000 ppm、ACGIH；1.8 mg/m³

設備対策：屋内作業場には排気装置等の換気設備の設置。

作業場近くへの手洗い場、洗眼設備の設置。

保護具：防塵マスク、眼鏡型保護メガネ、保護手袋、前掛等。

10. 環境影響情報

分解性：データなし

魚毒性：データなし

蓄毒性：データなし

11. 廃棄上の注意

水を加えて固化した後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。

12. 輸送上の注意

- ・容器の破損が無い様に積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ・容器は温度の上昇を防止する（40℃以下）。

- ・「取り扱い及び保管上の注意」の記載内容に準じて行う。

13. 主な適用法令

【有効成分】

- ・化学物質管理促進法（PRTR法）：該当しない

【プロパン、ブタン】

- ・高圧ガス保安法：液化石油ガス保安規則
- ・消防法：第9条の2（施行令第4条の5）届出を要する物質（300kg）
- ・労働安全衛生法：施行令別第1条危険物（可燃性ガス）
- ・化学物質管理促進法（PRTR法）：該当しない

14. その他

記載内容は、作成時点において入手した資料及び情報に基づいたものであり、物理化学的な特性及び値等を保証するものではありません。化学物質の危険性及び有害性の評価は完全ではありませんので取扱には十分ご注意ください。
